



2025年 8月 6日
第25号

JR東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

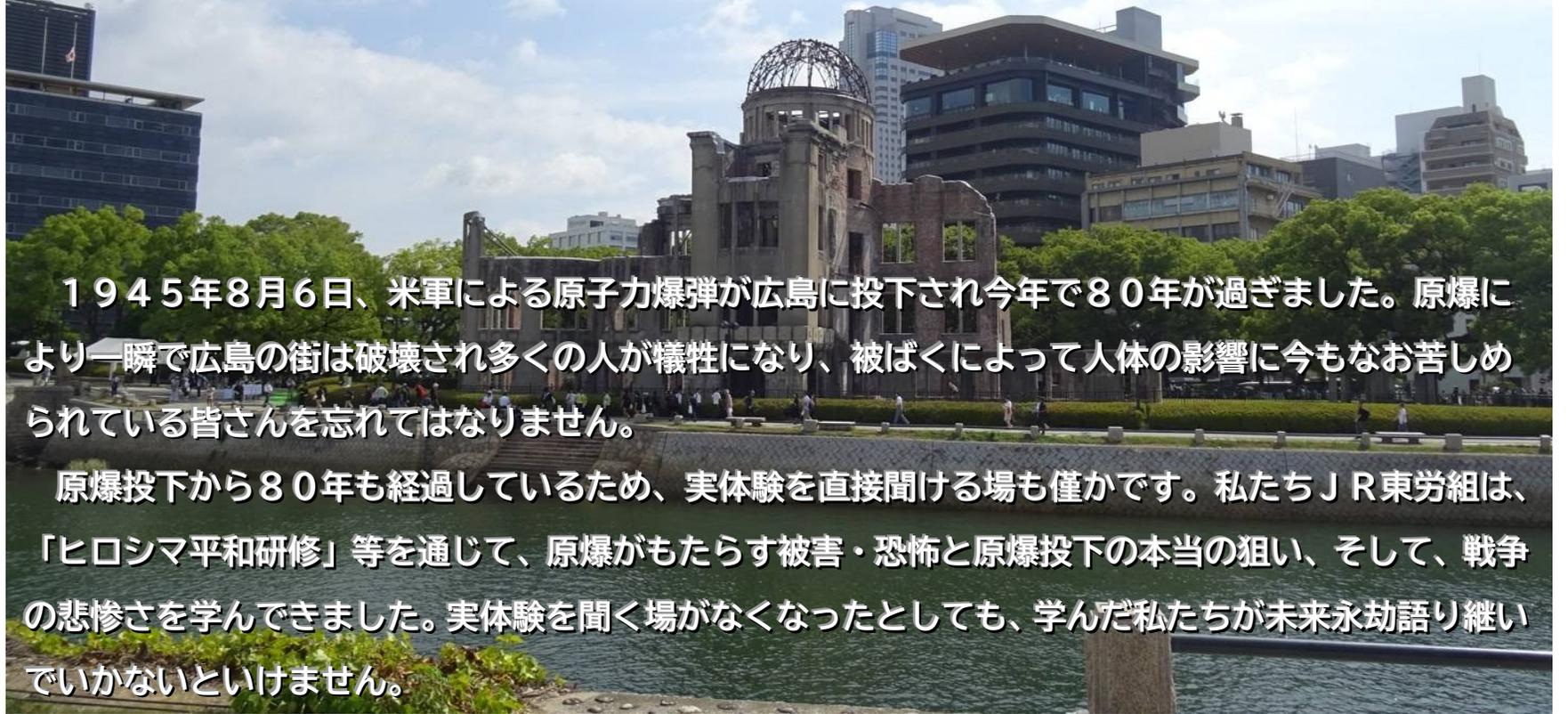
編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp>



原爆投下から80年の広島



1945年8月6日、米軍による原子力爆弾が広島に投下され今年で80年が過ぎました。原爆により一瞬で広島の街は破壊され多くの方が犠牲になり、被ばくによって人体の影響に今もなお苦しめられている皆さんを忘れてはなりません。

原爆投下から80年も経過しているため、実体験を直接聞ける場も僅かです。私たちJR東労組は、「ヒロシマ平和研修」等を通じて、原爆がもたらす被害・恐怖と原爆投下の本当の狙い、そして、戦争の悲惨さを学ぶことができました。実体験を聞く場がなくなったとしても、学んだ私たちが未来永劫語り継いでいかなければなりません。

広島市長は平和宣言の中で「私たち市民は決してあきらめることなく、真に平和な世界の実現に向けて、核兵器廃絶への思いを市民社会の総意にしていかなければなりません。そのために、次代を担う若い世代には、軍事費や安全保障、さらには核兵器のあり方は、自分たちの将来に非人道的な結末をもたらす得る課題であることを自覚していただきたい。その上で、市民社会の総意を形成するための活動を先導し、市民レベルの取り組みの輪を広げてほしいのです。その際に留めておくべきことは、自分よりも他者の立場を重視する考え方を優先することが大切であり、そうすることで人類は多くの混乱や紛争を解決し、現在に至っているということです。」と挨拶し、子ども代表の平和への誓いでは「平和について関心をもつこと。多様性を認め、相手のことを理解しようとする。一人一人が相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはず。周りの人たちのために、ほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。」と、私たち一人ひとりに対して平和への考え方と行動を訴えました。



被爆80周年 令和7年8月6日
AUG. 6, 2025
THE 80TH ANNIVERSARY OF THE ATOMIC BOMBING
広島市原爆死没者慰霊式・平和祈念式
HIROSHIMA PEACE MEMORIAL CEREMONY

私たちJR東労組は、戦争を引き起こすのは国家間であり、それを食い止めるためにも市民と労働者の国際連帯の輪を広げてきました。より多くの市民と労働者と連帯して戦争のない社会を実現していきましょう！

**原爆の悲惨さ、恐ろしさを学んだ私たちが
平和であり続けるために何が出来るか考えよう！**